

令和6年3月議会報告 豆田町の交通整備と福岡圏への婚活支援

【豆田町：安全で歩きやすい観光地を目指して】観光客の回復が進む中、豆田町では平日でも多くの人が訪れるようになり、歩行者と車両の混在による安全性の確保が課題となっています。崎尾は、現在ひなまつり期間のみ実施されている「一方通行規制」を常設化し、安心して歩ける町並みを整備するよう提案しました。観光振興と生活道路の両立を前提に、地域住民・事業者・行政・警察が連携した形での検討を求めています。

市は、豆田町の交通量実態を把握するため、大学と協働で調査を進め、地域住民へのアンケートを実施する方針です。観光客や住民、事業者の意見を踏まえたうえで、安全性と利便性を両立した交通体系の構築を目指します。観光地としての魅力を損なわず、事故防止と歩行者中心の町づくりを進めることが今後の重点課題です。

あわせて、観光DX（デジタル活用）による利便性向上も進んでいます。SNSデータを活用した来訪分析や電子決済「ひたPay」、夜間観光「TAKATSUKA INORI NIGHT」など、地域の特色を生かした施策が展開中です。崎尾は「安全性の確保を観光戦略の基盤と位置づけ、歴史と生活が共存する観光地を築くことが重要」と強調しました。

【婚活支援：福岡都市圏への発信強化】婚姻件数が減少する中、日田市では「結婚新生活応援事業」を通じて最大30万円（29歳以下の夫婦は60万円）を支援していますが、出会いの機会が依然として少ない状況にあります。崎尾は、地元男性の参加意欲に比べ、市外女性の参加が伸びていない現状を指摘し、特に福岡都市圏への発信強化を求めました。

福岡圏は日田市から鉄道で約70分とアクセスが良く、観光・婚活の連携による新たな交流の可能性があります。崎尾は「天瀬川を天の川に見立てたナイトカヤック」など、自然と文化を融合した出会いイベントを例示し、都市圏の若者に“日田の魅力を体験しながら交流できる場”を提案しました。

市は、他自治体の事例を参考に都市圏への広報展開や事業連携を検討しており、観光振興と人口減少対策を両立する方向での取組が期待されます。

【まとめ】豆田町の一方通行化は、安全と観光の調和を図る重要な課題であり、福岡圏との連携による婚活支援は地域の活力を生み出す契機です。日田市は今後も、地域の声を反映した持続可能なまちづくりを進めます。